

なごさと

人 口	7,279 (+ 1)
男	3,604 (- 1)
女	3,675 (+ 2)
世帯数	1,666 (- 1)

9 月 3 0 日 現 在



体育の日の十月十日、第二回中里村体育祭」が開催されました。当日はあいにくの雨模様であったため参加者の出足はもう一歩というところでしたが、老人生きがい対策事業の「老人スポーツ大会」も同時に行なわれ、幼児から老人にいたるまで約三百人が参加しました。

会場となった田沢中体育館では先ずラジオ体操で体をほぐしてから競技に入り、歓声をあげながら所狭しとばかりに紅白玉入れや風船割り、綱引きなどのレクリエーション種目を楽しんでいました。

一方、小雨の降る悪コンディションの中で行なわれたマラソン大会には九十数名が参加。

グラウンドを一周してから駅通り、干溝、小原部落、宮中橋を経て貝野、本屋敷部落までの坂道の多い難コースをそれぞれ往復2K・3K・5K・8Kの距離で健脚を競い合いました。

今年で二回目を迎えたマラソン大会は、年々参加者の増加のきざしがみられ、関係者は今後の大会の盛りあがりに期待をよせています。

(写真はマラソン大会の一コマ)

新刊圖書案内

雪崩れる
新日本の首領
白の十字架
日本人に生まれて頂か得か
われらがチヨウ夫婦
葡萄畑
幸福の断章
白い巨塔
公園通りの午後
雑談の夜明け
不安の時代に処す
飛翔の時機は来た
もういちど歌って
北の怒濤
昨日の花
和官様御留
園芸12か月
病氣と害虫
ママぶく死にたいよ
聖職の碑
冬の餐
隠密の影帖
ぼくらの時代
アイズ
家庭教育論
日本人の育ての知恵
娘と私の時間
エベレスト南壁
柳生但馬守

中里 投稿

俳句

萩のすでにももるこらぬ灯

深雪

秋の蟻ひと日動かず葉鶏頭

迫風

海人

追風

己を捨ててさか

し三十年にあ

てし

雨ふる山田に稲を束ぬれば

んぼ小さく羽

何ぞなく刈田のわらを集むれば

足元近き

う咲きて

くれないの色づ

橋げた

夜半の帳

ひぐわれて白穂と

西陽は赤か

はもゆる

山

田 幸子

のうき子に教えてきのご待り

時習

骨となる案山子を吹くや秋の風

海人

秋の蟻ひと日動かず葉鶏頭

迫風

己を捨ててさか

し三十年にあ

てし

雨ふる山田に稲を束ぬれば

んぼ小さく羽

何ぞなく刈田のわらを集むれば

足元近き

う咲きて

くれないの色づ

橋げた

夜半の帳

ひぐわれて白穂と

西陽は赤か

はもゆる

山

田 幸子

夜半の帳

ひぐわれて白穂と

西陽は赤か

はもゆる

山

田 幸子

己を捨ててさか

し三十年にあ

てし

雨ふる山田に稲を束ぬれば

んぼ小さく羽

何ぞなく刈田のわらを集むれば

足元近き

う咲きて

くれないの色づ

橋げた

夜半の帳

ひぐわれて白穂と

西陽は赤か

はもゆる

山

田 幸子

のうき子に教えてきのご待り

時習

骨となる案山子を吹くや秋の風

海人

秋の蟻ひと日動かず葉鶏頭

迫風

己を捨ててさか

し三十年にあ

てし

雨ふる山田に稲を束ぬれば

んぼ小さく羽

何ぞなく刈田のわらを集むれば

足元近き

う咲きて

くれないの色づ

橋げた

夜半の帳

ひぐわれて白穂と

西陽は赤か

はもゆる

山

田 幸子

夜半の帳

ひぐわれて白穂と

西陽は赤か

はもゆる

山

田 幸子

己を捨ててさか

し三十年にあ

出稼ぎの手続きをお忘れなく

国民年金

間もなく出稼ぎに出かけるみなさんに、国民年金係から三つのお願いがあります。

「年金手帳」は忘れずに持参しましょう!!

出稼ぎ先の職場の労務担当者に「年金手帳」を提出して、厚生年金の記号番号(初めて厚生年金に加入する人)、加入年月日、喪失年月日を記入してもらってください。出稼ぎの期間(厚生年金加入期間)は国民年金の加入期間と合算して、将来、「通算年金」として受けることになります。

出稼ぎ福祉だより 作品募集について

出稼ぎ者の安全と家族との媒介として例年出稼福祉だよりを刊行してきましたが、本年も出稼福祉だよりの刊行を計画しておりますので編集にあたり別記のとおり作品の寄稿をお願いします。

記

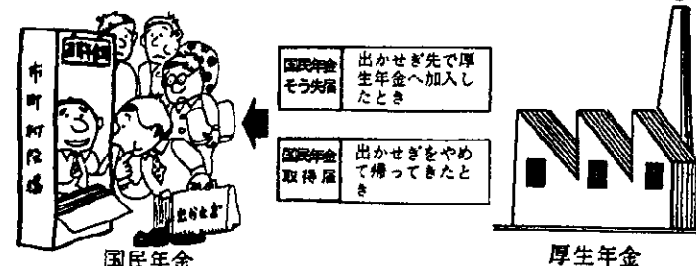
募集期限 昭和53年11月下旬
送り先 中里村役場社会課

出稼ぎ先で厚生年金に加入したときは国民年金の喪失届を、出稼ぎから戻ったときには国民年金の加入届をそのつど速やかに手続きをいたしましょう。

国民年金の届は

そのつど速やかに!!

国民年金と厚生年金などはつながります



(注) この手続きを怠り年金制度間に空白期間ができると、通算年金(老齢・障害)がうけられないこともあります。

保険料を

掛け忘れると大変です!!

保険料を掛け忘れてしまうと、通算年金(老齢・障害)がうけられないこともありますので、保険料は出稼ぎに出かける前に掛け終えるように心掛けましょう。

最後に、「年金手帳」はあなたの分身ともいえるものですから、大切に保管しましょう。

国民健康保険

稲刈も終り秋の収穫が一段落すると出稼ぎが始まります。出稼ぎされる方は、次のことを忘れずに手続きして下さい。

※出稼ぎなどで冬期間家を離れる場合

冬期間出稼ぎされ、出稼ぎ先で他の保険に入らない人は①保険証(特別被保険者証)を発行します。離れる期間、行き先等をメモし印鑑と家の保険証を持って国保の窓口で手続きして下さい。

※出稼ぎ先で社会保険に加入される場合

社会保険に加入してから事業所の証明書(国保係に用紙有り)を添え、家の保険証、印鑑を持参して

届け出て下さい。この場合家族も社保の被扶養者として社会保険に申請して下さい。うっかり手続きしないので二重に加入したり、保険

消防職員採用試験が行なわれます

一採用職種及び採用予定人員
消防士、若干名

二受験資格

- (1) 高校卒業業者(卒業卒業予定者を含む)で昭和31年4月2日以降に生れた男子
- (2) 中魚沼、十日町郡市内に居住可能な者
- (3) 身長1 m 60 cm以上、胸囲はおむね身長の上、体重50 kg以上、視力両眼の場合0.8以上で色神正常な者

三試験方法

- (1) 第一次試験(十二月九日)
- (2) 第二次試験

(ア) 教養試験

(イ) 体力診断テスト

(2) 第二次試験

口述試験、身体検査

場所及び時刻等は、第一次、二次とも受験者に別途通知します。

四受験手続

十日町地域消防本部総務課へ次の書類を提出して下さい。

(1) 受験申込書(消防本部総務課

証を持たないで医者さんにかかったりすると全額支払わなければならない場合もあります。

又は役場総務課消防本部にあります(2) 身上調査

(3) 最終卒業学校の成績証明書

卒業見込みの者は前年のもの

五申込受付期間

昭和53年11月13日(11月27日午後五時)まで。但し郵送の場合は11月27日までの消し印のものは有効とする。

尚、不明の点は十日町地域消防本部総務課にお問い合わせ下さい。

村民剣道大会

開催お知らせ

一、日時 十一月十二日

午前九時開会

二、場所 田沢小学校体育館

三、種目

一般、高校の部

個人戦 小学生の部(男女)

中学生の部(男女)

四、参加資格 中里村に住んでいる方。

五、申込期日 十一月六日必着

六、申込先 中里村公民館

「たばこ」は村内で買いましょう

村民球技大会終る

去る十月二十二日に、田沢中体育館で村民球技大会が行なわれました。当日は婦人、一般のバレーボールと籠球の三種目に十三チームが参加して熱戦を展開。

今年の大会には田沢中女子籠球部と同OBチームが参加して大会の雰囲気盛り上げました。

成績は次の通りでした。

●婦人バレー

一位 中里婦人バレーチーム

二位 貝野婦人バレーチーム

●排球一般

一位 体協チーム

二位 倉俣チーム

三位 貝野チーム

一位 体協チーム

二位 高校生Bチーム

三位 高校生Aチーム

●籠球女子

一位 田沢中チーム

二位 田沢中OBチーム

つくってみませんか

鯉のかんろ煮

冬期間の動物性蛋白質源として鯉料理が重宝されていますが、その一つとして鯉のかんろ煮があります。そこで、転作の有効利用をはかっていたために、ここに鯉のかんろ煮のつくり方を紹介します。

●材料

鯉(10 cm位)

しょうゆ

塩

砂糖

水あめ

カラメル

3%の食塩水

●作り方

(1) 餌止め三、四日後の鯉の腹をカミソリで1 cm程さき、指で軽く内臓を絞り出してから3%の

年末期の事業資金のお申込みは早目に

商品仕入、買掛金、支払手形の決済、ボーナス等諸経費の支払など年末期の資金のお手当はお済みでしょうか。国民金融公庫では、十月一日から年末期の貸付を開始しました。当期間は申込が集中しますから早目にお申込下さい。

●普通貸付(一般の事業資金)

一、融資限度 一〇〇万円以内

二、利率 年七・一%

三、貸付期間 運転資金五年以内

設備資金七年以内

四、保証人 一名以上

「清津山の会」は、登山の楽しみをより多くの人に知っていただく

活動は一ヶ月一回を目標としており、最も重要な行事は、村民登山と小松原清掃登山です。

村民登山は苗場を目指したが、第一回目とあつてか参加者は十一名と少数でした。十月の小松原清掃登山は五十九名の参加者を得て大成功。今後とも続けてゆきます。

とにかく楽しく、長続きする会にしたいと、全会員が何らかの役に当り頑張っています。元氣いっぱい

の若き山の会をよろしく。

カメラ訪問



活動は一ヶ月一回を目標としており、最も重要な行事は、村民登山と小松原清掃登山です。村民登山は苗場を目指したが、第一回目とあつてか参加者は十一名と少数でした。十月の小松原清掃登山は五十九名の参加者を得て大成功。今後とも続けてゆきます。とにかく楽しく、長続きする会にしたいと、全会員が何らかの役に当り頑張っています。元氣いっぱいの若き山の会をよろしく。